

新町小学校だより

～かしこく こころゆたかに

たくましく 生きる新町の子～

第14号

令和2年12月22日

津市立新町小学校

Tel 059-228-5125

「みんなで笑って、頑張りたい！」

～今年を振り返って～

先日「今年の漢字」に「密」が選ばれたというニュースがありました。学校でも、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、3密（密閉、密集、密接）を常に気にして、出来る限りの対策を講じてきたので、今年ほど人との距離や集まりを意識した年はありません。「ソーシャルディスタンス」という言葉が、1年生の子からも出るようになり、先日の校外学習で神社に行った際には、2年生の子どもたちから「神社の感染予防対策は何ですか？」と宮司さんに質問もありました。



京都新聞より

でも、子どもたちが「新しい生活様式」を少しずつ受け入れ、日頃からマスクや手洗い、密を避ける行動をとってくれているおかげで、本校では、2学期に入り、運動会に修学旅行、遠足に社会見学、そして学習発表会等、多くの行事を行うことができました。そして、各クラスの授業の様子を見ても、たくさんの子たちが手を挙げて発表し、それぞれが意見を出し合い、クラスで高め合う場面も多く見られるようになりました。

下の作文は、2年生が書いた読書感想文の一部です。これを読んで、学校の学びを止めてはいけない、教室は子どもたちにとって、やはり大切な場なんだと改めて思いました。

今年は、本当に大変な年となりましたが、それでも本校の教育にご理解とご協力をいただき、心より感謝致します。来年もよろしくお願いします。

「教室はまちがうところだ」を読んで

～2年生の読書感想文より（一部）～

これは、先生が「まちがえてもだいじょうぶ。」と、クラスの子どもたちに話をするという絵本です。私はまちがうことは大事だと思います。なぜかという、まちがえたら、次にできるようになるからです。でも、うまく言えなくてかなしくなるときもあります。うまく言えなかったのは、学校あんないのセリフのときです。とてもドキドキして、声が小さくなってしまいました。



でも、この本は「それでいいのだ。いくども、いくども同じことをくり返すうちに、だんだん『どきん』がやんで、言いたいことが言えてくるのだ。」と言っていました。これを読んで、教室でどんどんまちがえたいと思いました。

まちがえるのが平気な子も、きれいな子も、どっちもいていいと思います。どんな子も手をあげられるように、笑ったりバカにしたりしないで、いっぱいおうえんして、楽しい授業にしたいです。そうやって、クラスみんなでがんばったり、笑ったりしていきたいです。